

# 県民の森だより 5 2018 月号



クラフト材料・鋭意製作中!

**発行** 宮城県 県民の森管理事務所 TEL&FAX 022-255-8801  
〒981-0121 宮城県宮城郡利府町神谷沢字菅野沢 41  
(指定管理者) 特定非営利活動法人 宮城県森林インストラクター協会

入園料：無料  
利用時間：4月～10月/9時～16時30分  
11月～3月/9時～16時

サクラ前線も北海道へと足早に立ち去りました。今、園内は萌黄色から深緑に染まりつつ、赤・青・黄色と沢山の草本類が次から次へと咲き誇っています。足元が明るい園内の遊歩道(総延長 30 km)は、どこを歩いても気持ち良く清々しい気持ちにしてくれます。愉しく歩ける園内が皆様をお待ちしております。(所長：蜂谷仁)

## ツキノワグマ・イノシシにご注意下さい

冬眠から目覚めたクマが、野草などの食べ物を探して活発に活動する時期です。園内散策の際には、早朝・夕方の単独行動は避け、熊鈴やラジオを携帯するなどして、クマに自分の存在をアピールしながら、十分に注意して下さい。

また、園内にはイノシシの侵入跡も確認されています。イノシシは本来臆病な性質で人間を避けますが、万が一出会ってしまったら、落ち着いて向かい合ったままゆっくりと後退しましょう。いたずらに追いかけていたりして興奮させると、襲ってくる事もあるので注意が必要です。



大和町・舟形山  
登山口にて  
ツキノワグマの  
親子

写真撮影：利府町  
T様

野鳥写真展(4/20～)  
バードカーピング展  
(5/11～) 開催中

中央記念館 1 階展示ホールにて



## 園内は動植物採取禁止です

県民の森内の動植物の採取は禁止されています。職員が巡視しておりますが、盗掘や山菜採り等の被害が多々見受けられ、一同心を痛めております。採取している現場を発見した方は、管理事務所までご一報下さい。

## 今月のけんみんのもり写真館 スペース広め スタッフが 찾았다 시ぜん のひとコマバージョン



チゴユリ (イヌサフラン科)  
稚児百合

名前は、小さく可憐な花を稚児行列の稚児にたとえ、ユリ科なのでユリです。自生地は比較的標高の高い林内ですが、園内の雑木林の林床にも咲いています。花後果実は黒色に熟しますが、有毒なので注意が必要です。(駒野)



コンロンソウ (アブラナ科)  
崑崙草

名前は、花の白さを中国の崑崙山の雪に例えたものが一般的です。また果実の色から付けたとの説もあります。これは南シナ海の伝説の島・崑崙島の崑崙坊(西南の海の島に住む色黒い人)に似ていることからです。(駒野)



エイザンスミレ (スミレ科)  
叡山葎

滋賀県西部の比叡山で初めて発見されたか、沢山自生していたため、叡山葎の名前があります。葉はまず三つに切れ込み、更に切れ込む独特のかたちです。判別の難しいスミレの仲間です。多いうえに、オオイタチツボスミレ同様芳香があります。(駒野)



ユキザサ (ユリ科) 雪笹

名前は、小さな白色の花をその上に舞う粉雪にたとえ、葉をササに。優雅な名付けですね。本種は群生し、茎の先端に白い花穂を付けます。チゴユリ同様雑木林内で見られます。花後果実は赤く熟します。(駒野)



サンコウチョウ (カササギビタキ科)  
全長：オス 45cm  
メス 18cm

写真撮影：高橋政彦さん



オオルリ (ヒタキ科)  
全長 16cm



キビタキ (ヒタキ科)  
全長 14cm

人気の夏鳥御三家です。サンコウチョウは長い尾羽と月・日・星ホイホイホイと聞きなされる鳴き声の特徴。オオルリは美しい瑠璃色と、美しい鳴き声で、ウグイス・コマドリと共に日本三鳴鳥と呼ばれます。さえずりのレパートリーは 20 種類以上とも言われ、最後に「ジジッ」と鳴くのが特徴。キビタキは別名「森のピッコロ奏者」とも呼ばれ、軽快な鳴き声と、黒と黄色のコントラストが、新緑の森の中で美しく映えています。(入園)

## 県民の森名木紹介 vol.42 トチノキ

芽吹きから若葉へと急速に変化するこの時期、大きな葉で目立つこの木の変化中の様子が目につきました。左右対称で扇型の端正な樹冠で、周りの木々をはるか上から見下ろす立派な高木です。

若葉への展開中の今、特に美しく感じられました。写真は、記念館東側芝生広場から見たものです。(工藤)

